磐田市
自治会連合会だより

～ 29 地区・305 自治会の力の結集で安全安心のまちづくりに努めています ～

回　覧
VOL.30
平成29年 6月15日発行
発行：磐田市自治会連合会
編集：磐田市自治会連合会総務部会

連絡先
磐田市自治会連合会事務局〈地域づくり応援課〉
☎(0538)37-4811
http://www.iwatashi-jichikai.jp

❖ 地域づくり協議会の推進について ❖

自治会連合会長
村上 勇夫

新年度を迎え、単位自治会の役員も大幅に交代しました。今年度も305自治会のうち、263（86％）の自治会が新しい自治会長になりました。

今年度は自治会活動にとって、ターニングポイントになる重要な年と捉えています。

合併13年目の磐田市は、社会環境の急激な変化に対応し、多くの課題を克服しなければいけません。

人口減少、少子高齢社会、価値感の多様化から、地域の在り方、ＩＴ機器の驚異的な発達など、自治会活動も新たな対応を迫られています。

そのために平成26年度から、自治会連合会は行政と協議を重ね、地域づくり協議会という新たな組織で、対処することが最善と合意しました。

年度初めに、改めて地域づくり協議会の理解を深めるためのポイントを整理しました。この組織が機能し、活発な活動によって自治会の様々な課題が解消されていくことを強く願っています。

地域づくり協議会の設立目的

1 住民が主体となって地域活動を企画・運営する体制づくり
2 一括交付金を地域課題の解決に有効活用
3 役員のなり手不足は組織の工夫で対応（協議会のボランティア人材バンクの活用）
4 役職兼務の解消や任務の分散化で役員の負担軽減
5 交流センターの役割と位置づけを理解

一括交付金の趣旨と特徴

1 地域の課題解決や地域の特性を活かしたまちづくりを支援するため交付される
2 使途を特定されずに地域の考えで自由に活用できる
3 適正であると認められれば積立や繰越が可能

設立目的と一括交付金を地域の人に説明して、地域づくり協議会の内容を多くの人に、理解して頂くことが必要と感じています。

「安全、安心で、住んでいて良かったと思えるまちづくり」実現のために

地域づくり協議会では、地域の特性を生かす組織が作られています。福祉、防災、防犯、交通安全、教育、地域交流、環境整備など、地域によって優先度が異なります。住民の地域への関心度の差が、地域づくりに影響します。未来を見据えた判断で次世代に誇れる地域が構築されることを願っています。

磐田市津波対策事業基金へのご協力ありがとうございました

磐田市津波対策事業基金は、今後想定される津波から市民の生命財産を守るための防潮堤整備など、津波対策事業の経費に充てることを目的に磐田市が設置した基金です。自治会連合会では、互助の精神のもと、次世代に安全で安心な地域を残していくために、平成26年度からの3カ年の活動とし、基金への募金活動に取り組みました。3年間の募金総額は表のとおりです。平成28年度末をもって当初予定していました3年が終了いたしました。ご協力を頂き有難うございました。

期　間	募集金額
第１次（平成 26 年 12 月～平成 27 年 2 月）	15,546,361 円（292 自治会）
第２次（平成 27 年 9 月～平成 27 年 11 月）	15,987,813 円（298 自治会）
第３次（平成 28 年 9 月～平成 28 年 11 月）	15,662,437 円（300 自治会）
合　計	47,196,611 円

各地域の取りまとめ役を紹介します

●磐田支部

支部長　水野　勲

今年度は、役員や自治会長の交代期になり、磐田支部においても142名の自治会長のうち110名が新しくなりました。また、市内全域で「地域づくり協議会」も発足します。「地域づくり」とは、福祉・防犯・防災・子供・文化等の活動を単位自治会でなく、地域で行っていくものです。

少子高齢化と人口減少が進み、これからの、地域のあり方が問われています。そのため、地域のつながりをもっと大切にしていくことが必要となります。新自治会長の元で自治会内の結束・協力体制を強めて、活動をしていってください。

見付地区長
林　浩巳

中泉地区長
星野　勝彦

西貝地区長
中村　和良

長野地区長
古山　晴海

大藤地区長
田中　好二

南御厨地区長
藤原　孝一

今之浦地区長
樋口　栄造

天竜地区長
鈴木　克巳

於保地区長
鈴木　義親

向笠地区長
三浦　靖男

岩田地区長
青島　浄

御厨地区長
新貝　雅海

田原地区長
鈴木　通

●豊田支部

支部長　島岡　信生

昨今の私達を取り巻く環境は時代の変化と共に想定外の災難を想定し、常に危機管理意識を持って日々の生活をしなくてはなりません。なぜなら自然界では気候変動による豪雨・竜巻又南海トラフ、そして人間社会においては交流サイト（SNS）等による犯罪や増加する麻薬患者、高齢者の運転事故、貧困による窃盗・強盗など想定外の事件・事故に遭遇されかねない時代です。その災難防衛のために、常日頃から防犯・交通・防災の訓練はもちろん、自治会活動を通して住民相互の絆を深め、お互いが助け合える明るい「まち」づくりに向かってさらに邁進しなくてはなりません。今後もご支援のほどよろしくお願いします。

富岡地区長
鈴木　猛

豊田東地区長
菊地　武光

池田地区長
兼子　孝宏

青城地区長
大澤　房男

井通地区長
廣幡　喜代輔

●福田支部

支部長　杉浦 聖

自治会連合会の活動は、今まさに過渡期にあります。地域づくり協議会がクローズアップされる中、自治会連合会の支部活動については、縮小しながら地域づくり協議会へ移行する方向にあります。今後は、地区単位で展開すべき活動、例えば地域福祉活動や防犯活動などは地域づくり協議会が担い、小単位で実施すべき防災活動や環境づくり活動などは、従来どおり単位自治会が担うという構図になると思います。

この変革期にあって、自治会連合会の舵取りが極めて重要です。地域の活性化を実現するためには、自治会連合会と単位自治会が一層連携を深めることが不可欠です。ご協力をよろしくお願いします。

福田南地区長
星野 秀次郎

豊浜地区長
伊藤 富次夫

西部地区長
田中 健一

福田中地区長
山田 正美

北部地区長
山田 孝行

●竜洋支部

支部長　藤田 允

自治会活動は安心安全の住みよいまちづくりに貢献していくことではないかと思います。

共生・共助が人間社会の原点であり、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の精神で地域に恩返しができればと思います。

変身資産という言葉があります。人的ネットワークを再構築して新しく開かれた姿勢を持ち活動する。まさしくこれは自治会活動を通じて出来るものだと信じます。

地域社会に関わっていけば、人間関係は生まれます。面倒だと感じていることも、あえて実行していけば、信頼関係が深まり住みよいまちになると思います。

西地区長
吉野 博行

東地区長
根本 邦雄

北地区長
岡本 伸夫

●豊岡支部

支部長　深田 研典

本年度から、市よりの一括交付金を受けて、交流センターを拠点とした新たなまちづくりの組織「地域づくり協議会」が動き出します。これからはますます、地域住民一人ひとりが「自助・共助」の意識を強めて、地域力を高めていくことが求められてまいります。「自らの地域は自らが守り、育てる」…地域住民のみなさん、共に力を合わせてがんばりましょう！微力ではありますが、日頃からお世話になっております地域や地域住民のみなさんに「恩返し」するつもりで、常に感謝の気持ちを持って努力させていただきます。よろしくお願いいたします。

北地区長
原田 孝

南地区長
石川 好三

東地区長
山下 恭史

平成29年度 総会報告

平成28年度 事業報告・収支決算

4月15日（土）にアミューズ豊田で総会を開催しました。平成28年度事業報告・決算、規約の改正、新役員、平成29年度の事業計画・予算等は全て承認されました。

また、永きにわたり自治会活動に積極的に取り組まれた方々へ表彰状授与を行いました。

＜ 平成28年度 収支決算 ＞

収入

費目	決算額（円）
会費	1,695,000
交付金	18,216,100
負担金	565,500
前年度繰越金	661,976
雑収入	25
合計	21,138,601

差引残額 823,197 円は翌年度に繰り越す。

支出

費目	決算額（円）
会議費	487,155
事務費	2,574,984
支部助成費	11,629,775
先進地視察費	829,844
事業活動費	4,621,146
負担金	172,500
予備費	0
合計	20,315,404

平成29年度 事業計画・収支予算

「安全・安心の住みよいまちづくりの取り組みを推進する」を基本方針に、6つの項目に取り組みます。

◆安全・安心のまちづくりに向けた取組み
防犯強化月間や交通安全街頭キャンペーンの実施、安全・安心活動に対する情報提供や支援、啓発活動、研修会の開催

◆自治会活動の更なる推進
各種団体からの依頼・連絡事項を自治会に対して伝達・情報提供、単位自治会が抱える課題に対する協議、連合会だよりの発行

◆市政への関心を深め、市民の声を市政等へ反映させるための取組み
市長と自治会長との意見交換会を開催、市三役及び市議会との懇談会等の開催

◆地域の防災・減災力の更なる向上に向けた取組み
家庭防災の日にて「自助」の意識啓発、防災講演会の開催、防災訓練のあり方の検証、防災対策アクションプログラムの推進・検証

◆今後の地域組織に対する取組み
自治会連合会組織の見直し、地域づくり協議会組織運営への主体的な関わり

◆協力事業
地域福祉、子供・若者健全育成等への協力、募金活動等

＜ 平成29年度 収支予算 ＞

収入

費目	予算額（円）
会費	1,700,000
交付金	7,749,000
負担金	684,000
前年度繰越金	823,197
雑収入	803
合計	10,957,000

市による一括交付金制度の導入により、地区活動助成に係る交付金収入及び助成費支出が大幅に減となっています。

支出

費目	予算額（円）
会議費	600,000
事務費	2,736,000
助成費	1,344,000
視察研修費	1,050,000
事業活動費	4,927,000
負担金	200,000
予備費	100,000
合計	10,957,000

自治会連合会ＨＰの紹介

自治会連合会ではＨＰを開設しています。

連合会・地区活動を掲載し、市の補助金などの様式をダウンロードできます。情報発信及び交流の場の1つとして、より効率的・効果的な運営をしていきます。是非ご覧ください。

磐田市自治会連合会　検索

http://www.iwatashi-jichikai.jp/

防犯活動について

～無理せず、できる防犯活動に取組む～

私たちが暮らす地域の安全は、警察が頑張って活動をしていてもそれだけでは限界があります。

安心して暮らせる地域をつくるために力を合わせて無理せずできる防犯活動をしましょう。

～防犯活動の効果～

防犯活動は、地域住民の連帯感を強め、犯罪が起こりそうな時間帯、場所に目を向けるようになり、犯罪抑止効果を上げます。

～防犯活動の取組み姿勢～

地域の防犯活動は、警察や市、学校等の関係機関・団体と協力し参加者自身の活動として取り組みましょう。

磐田市内犯罪発生件数（平成28年1月～12月）

凶悪犯	粗暴犯	侵入盗	乗物盗	非侵入	知能犯	風俗犯	その他	計
7	99	84	230	376	32	14	165	1007